

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】クラウド上に教材を共有「いつでも・どこでも・だれとでも」学びを深められる

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

いつでも、どこでも、だれとでも、学びを深められる！



クラウド環境を活かした授業づくり

- 授業で使用する教材や資料はクラウド上に保存し、生徒がいつでもどこからでもアクセスできるように。
- クラウド上の課題や作品に対して、生徒間でコメントを共有。だれとでも学べるように。



単元全体の内容をGoogle スライド™で共有



生徒の反応



次は、この課題に挑戦するのか・・・。
少し難しそうだから予習しておこう。



学習履歴の蓄積が問題解決のヒントに



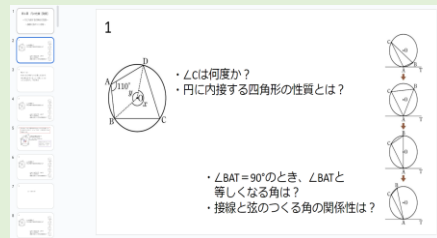
クラウド上に教材を共有

Google Classroom の「授業」にテキストデータや確認テスト等を投稿。生徒はいつでも授業の内容を確認することができる。



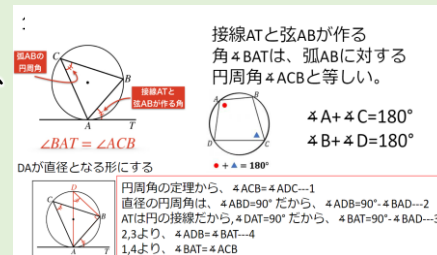
リアルタイムに他者参照

1人1枚のスライドをワークシートとして使用することで、友だちの解決方法をリアルタイムに参考にすることができる。さらに、互いの進捗状況を把握することで、主体的に声を掛け合うことができる。



発展課題に応用

多様な解決方法に触れることで、発展的な問いに気づくことができ、新たにさらに気になるものは自分で調べたり、指導者の説明を聞いたりして、理解を深めていく。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 小学校6年間＋中学校3年間を見通した情報活用能力の育成（小中連携）

②情報活用能力の育成

今後の進路を見据え、次の4つを中学校卒業までの達成目標としました。

- ★1 探究的な学習・・・整理・分析から提案
- ★2 タイピング速度・・・200文字/分
- ★3 スマホ・SNS・・・正しい利用方法の理解



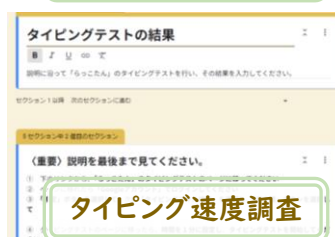
普段使い



個別・協働学習



プレゼン発表



タイピング速度調査



タイピング練習



整理・分析→提案

小学校

中学校

6年生

1年生

2年生

3年生

小6「学校紹介・部活動紹介」

中学生が小学校を訪問し、作成したスライドをもとに学校行事や部活動の様子を紹介。



中1：「総合的読解力発表会」

テーマごとにさらに調べたい内容を整理・分析し、スライドを作成。全生徒に向けて発信。



全学年「スマホ安全教室」

インターネット上のルールやマナーについて、体験的な学びを通して考える。



中2「校外学習（奈良）×教科」

現地で調べたい内容について、インターネット検索等の様々な情報を精査・分析して整理。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 クラウド環境で授業と家庭学習との往還がスムーズに

③B 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

授業

振り返りシートに自己の課題を蓄積

本時の内容を振り返り、自己の課題を言語化

振り返りシート	組 番 名前
達成度	日付
★★★★★	9/30
★★★★★	10月21日
★★★★★	10月23日
★★★★★	10月24日
★★★★★	10月30日

家庭

Google Classroom から学習内容を選択

自身の課題に合わせて、生徒自身が選択。

2学期中間テスト範囲ノート

(大阪市)・2024/10/01

2学期中間テスト範囲のノートを配信させていただきます。
事前チェックが10月3日(木)なのでしっかりと確認しておいてください。

PDF

授業プリントNo.12~16(二次...
PDF

PDF

授業プリントNo.17~19 (関数...
PDF

生徒の反応



相似の証明が難しかったな……。図形の証明の
授業プリントをもう一度やってみよう！

～クラウド環境が自立した学びを促進～

英語科「読み」はAI採点を活用

Teamsのラーニングアクセラレーターを使って、英語
「読み」の課題を配信。間の取り方やイントネーション
について、細部までAIが採点。自己の課題が明確に。

グループワークに向けて…

次の時間に話し合いたいこと
について、生徒一人一人が
自分のタイミングで投稿。
班のメンバーも自分のタイミ
ングで閲覧、コメントすること
で対話が深まり、効率的なグ
ループワークが可能。



休み時間も学び続ける姿が…！

休み時間も学習者用端末を囲み、
それぞれの意見を出し合って協働
的に学ぶ様子が頻繁に見られる
ように。
家庭学習でもクラウド上で同じ状
況が実現可能。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 アンケート・保護者懇談会の日程調整などはFormsを活用して働き方改革

④ 校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

様々なアンケートにFormsを活用

F アンケートはFormsで実施

① 教職員向けアンケート

⇒瞬時に集計し、次年度への課題や改善点をすぐに共有。

② 生徒向けアンケート（生徒会活動など）

⇒生徒の意見をリアルタイムにフィードバック。

③ 保護者向けアンケート（懇談会の日程調整など）

⇒回答をExcelでダウンロードし、日程別にソート。
予定表作成の時間短縮に。

教職員の反応

集計や分析にかかっていた時間が減り、
働き方改革が進みました!!

小中連携で同じフォームを活用

1学期末懇談希望調査フォーム

保護者の反応

小学校と同じフォームだから慣れていて
入力が簡単。ありがとうございます。

生徒主体のアンケート調査が全校展開

1

生徒会がアンケートを作成・実施
生徒主体のコンテンツとして浸透生徒会が学校の実態調査のために
アンケートを作成・実施。質問項目は
共同編集機能を活用し、修正がス
ムーズに。各学級でもForms活用が
浸透。

2

集計作業がなく、リアルタイムに
結果の分析が可能結果が瞬時にグラフ化されるので、
集計作業が大幅に削減。仮説との比
較に多くの時間を割けるようになり、
迅速な報告が実現。活用する生徒が
増加。

3

学級活動から学校行事まで
多岐にわたって生徒主体に様々なアンケートを生徒主体で実施
するようになり、生徒の自治が拡大。
印刷・配布・回収の手間がなくなり、
教員の働き方改革にも。

リーディングDXスクール事業【GIGA×情活能力】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×情活能力】クラウド環境を活用し、情報の収集、整理・分析、創造・表現、発信のサイクルを促進

<考察>

体験学習の学びが深まるよう、事前学習→体験学習→事後学習という流れを大切にしています。その中で、**情報の収集、整理・分析、創造・表現、発信のサイクルを促進するため、相互参照できるクラウド環境を有効活用**しています。

1. 事前学習（インターネット検索など）

- ① 知識の取得
- ② 予想と仮説の設定

2. 体験学習（インタビュー、観察など）

- ① 実践的な問題解決
- ② 観察とデータ収集

3. 事後学習（データ分析、スライド作成）

- ① 自己評価
- ② 新たな問題の発見
- ③ 共有

事前学習・事後学習は、探究的な学びを促進する重要なプロセスです。**生徒一人一人が得た情報をクラウド上で共有しながら相互参照し、互いの情報の気になる点について深堀できるようにコメント等で伝え合います。**個々の気づきの共有は新たな課題発見となり、探究的な学びにつながりました。

校外活動を通して、目的に応じた情報収集を体験



体験学習で目的に応じた情報を収集。

事前学習で情報を収集、インタビュー内容を整理

集めた情報を整理・分析し、企画提案を再検討・発表へ

日々の様子は学校HPでご覧ください。



3年「あべのQ'sモール企画提案」



企画提案に向けた実地調査を経験し、探究に向かう。

～企画提案～

- ① 企業に企画を提案
- ② 実地調査
- ③ 提案内容の妥当性を吟味。より高めていく。
- ④ 推敲した企画を再提案



企画を実現するためには、お客様の年齢層やニーズなどいろいろな要因を考えないと！

2年「校外学習（奈良）×教科」



クラスの壁を越えたゼミ方式で自身の興味・関心から探究へ

～探究的な学び～

- ① 事前に情報収集を行い、体験学習の目的を明確に持つ。
- ② 体験学習後、さらに調べたい内容を深めていく。



法隆寺の五重塔の柱の技術は東京スカイツリーにも応用されているんだって。見てみたい。

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】クラウド環境が支える「自ら考え、行動し、協働する生徒会」の活動

<考察>

生徒会の「やりたい！実現したい！」を実現するため、クラウド環境を活用しました。生徒会の子どもたちは、教科の学習を通して習得した情報活用能力を生かして、試行錯誤しながら計画立案や企画提案に挑戦しました。

生徒会のメンバーはそれぞれ学級が異なり、意見交換や情報共有が難しいことが悩みでした。そこで、生徒会専用のクラスを作成し、様々な取組にクラウドを活用することで**資料作成や意見交流のスピードが上がり、より内容の濃い議論**ができるようになりました。意見交流も1対1ではなく、複数の生徒や教員と交流することができるので、**様々な視点から即時にフィードバックが可能**です。**出された意見をもとに改善につなげていくというサイクルを確立**することができました。

生徒の主体性を育むため、教員は『指示をする』ことから『導いていく』ことに意識を変え、生徒が自ら考え、意思決定をする場面を大切にしました。この取組を通して、**生徒会の活動が校内の自治から社会問題を意識した奉仕活動へと展開**したことも成果のひとつです。

端末を活用することで、**効率的かつ効果的に活動が進めていけることを、子どもたちも教員も実感し、日常の学びに還元**することができました。

【生徒会】全国公開授業を成功させよう!!



クラウド環境を有効活用し、情報活用能力が急上昇

1 生徒会でポスター作成



全国公開授業も生徒主体の行事として発信。

2 校内調査用にForms作成

タブレット使用についてのアンケート

タブレットの使用についての意見をお聞かせください。

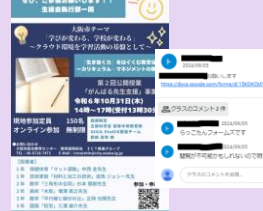
学年*

☐ 1年生

☐ 2年生

☐ 3年生

全校生徒に向けてアンケートを作成。自校の意識調査を収集・分析・展開。

3 調査内容をスライド化
クラウド上で意見交換・情報共有

コメント機能を活用し、いつでも意見交流ができるよさを実感。

4 学校紹介プレゼン発表

LDXスクールに関する取り組み
○授業での使用（生徒からの感想）

- ①今までのタブレットの使用について、印象にしていることを書いてください。
- ②広島県の中学校との交流で大阪の魅力を伝えるためにプレゼンテーションをおこなったこと
- ③未来の地球を守る～地球環境保全の研究～について、気候変動をテーマにPowerPointを作成したこと。

生徒会主体で学校の取組をスライドにまとめ、研究協議会に参会の教職員を対象に発表。



5 研究協議会の司会進行



生徒会がファシリテーターとなり、自分たちが受ける授業の改善を一緒に考えてみる。

端末を使う学習のよさを他校の先生方に伝えることができた!



クラウド上でいつでも先生や友だちと情報共有や共同編集ができるから安心&便利!

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・国語科】リアルタイムに意見交換やフィードバックが可能となり対話的な学びが促進

<考察>

本単元では、口語自由詩、口語定型詩、文語定型詩の中から、生徒一人一人が形式を選び、創作した作品について伝え合いました。**生徒が自ら選択できる仕組みは、学習者主体の学びを実現する要素**となりました。

他者の作品を参照しながら創作を進める過程は、表現の工夫や内容の構成に関する新たな視点を獲得の機会が多くなります。**単なる模倣にとどまらず、他者の作品との比較・評価を通じて、自らの作品にフィードバックを加え、より洗練された表現へと高めることができました。**

詩の形式を意識しながら「初恋」の続きを創作することで、文語のリズムや語彙の選択、感情表現の繊細さに注意を払う経験を積むことができました。**既存の作品に新たな視点を加え、続きを創作する活動は、論理的思考と創造的思考の両方が必要です。原詩の主題や雰囲気尊重しつつ、独自の解釈を加えることで、文学的な想像力を育むことができました。**

この活動を通じて、生徒たちは「初恋」という既存の詩を深く読み込み、その世界観を継承しながらも、**自らの感性や表現力を発揮する経験を得ることができました。**今後、他の文学作品でも同様のアプローチを試みることで、さらなる**言語能力の向上と創造的な学びの深化**が図れることを期待しています。

3年 国語科「初恋」島崎藤村

他者参照により協働的な学びが充実し、創作過程を通じて思考力・判断力・表現力の向上が見られた。リアルタイムのコメント交換により相手意識が高まり、言語活動が豊かに育まれていった。また、個々の進捗状況に応じてじっくり推敲ができるメリットもあった。



コメントについて
質問・相談

コメントをもとに
じっくり推敲

加筆・修正しながら
直接、意見交流

気になった表現を
インターネット検索

挑戦している型や進捗状況を
一覧表示で共有

創作過程を参照しながら進めていくことで、互いの表現のよさに気づき、自分が考えた世界観が相手に伝わるような表現の工夫について深めていくことができました。

「初恋」他者参照用 ☆ ☆ ☆							
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ							
検索 100% 10 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100							
1	2	3	4	5	6	7	8
出題番号	名前	リンク	挑戦レベル	ステータス	自己評価	自己評価	交流した人
1		https://docs.google.com/document/d/1hOK_Zv5_gwM4M/	レベル2	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
2		https://docs.google.com/document/d/1u7a8GfAP2Hw/	レベル2	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
3		https://docs.google.com/document/d/1K9W1_3dGVCu7/	レベル3	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
4		https://docs.google.com/document/d/1N2b67wK5ZvYX/	レベル1	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
5		https://docs.google.com/document/d/1u7a8GfAP2Hw/	レベル1	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
6		https://docs.google.com/document/d/1u7a8GfAP2Hw/	レベル1	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
7		https://docs.google.com/document/d/1u7a8GfAP2Hw/	レベル1	完成	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	
8		https://docs.google.com/document/d/1u7a8GfAP2Hw/	レベル1	作成中	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	



文語表現は難しいと思ってたけど、みんなからの意見を参考にできるから挑戦してみよう！

「人こひ初めしはじめなり」ってどういう意味だろう。インターネットで調べてみよう。



リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・数学科】 図形分野におけるGIGA端末の有効活用

<考察>

共同編集機能を活用することで、**生徒は他者の考え方や解法を可視化し、比較・検討しながら学習を進めることができます。他者の視点を取り入れることで、自分の理解がどの程度かを客観的に捉えたり、新たな発見をしたりする機会が増え、学びがより深まった**と考えられます。個人作業ではなく、他者と意見を共有しながら進めることで、**単なる知識の習得にとどまらず、対話的で能動的な学び**が生まれました。**特に図形分野では、多様な視点からのアプローチが求められるため、クラス全体で知識を構築していく学習が効果的に機能しました。**

振り返りシートを共有し、いつでもどこでも入力できる環境を整えたことで、**生徒は授業中だけでなく、放課後や家庭学習でも学習を振り返ることができました。これにより、学習内容が定着するとともに自己調整する力が養われつつあります。**

また、**教員も生徒の思考プロセスや理解の程度をリアルタイムに把握しやすくなりました。これにより、個別のフィードバックがしやすくなり、学習支援の質が向上しました。**

学習者用端末の活用が、**他者参照を通じた協動的な学びの強化、振り返りの柔軟性向上、視覚的な理解の促進といった学習の深化**につながりました。**特に図形分野の学習においては、デジタルツールを活用することで、より直感的かつ効果的な学習が可能**となるため、今後も継続的に活用していくことで、より質の高い学びにつながると考えています。

クラウド環境で自立した学びへ



他者参照による深い理解の促進

- 必要な資料はすべてClassroomにアップロード
- 本時の流れ、クリアすべき課題も掲載され、個人のペースで学習が可能。
- ポイントや重要事項は全体指導で確認。
- 個人の進捗は共有しているスプレッドシートで確認できる仕組みに

10月31日（木） 第5章2節 平行線と線分の比①

先日は「2節平行線と線分の比」の見取り学習お疲れ様でした。皆さんのスライドを見てしっかりと調べられており、素晴らしいものでした。本日は、「平行線と線分の比」の学習を深めましょう。

進捗状況確認シートの更新もお忘れなく！

本時の流れ

めあて「平行線と線分の比を理解し、それらを利用して線分の長さを求めることができるようになる。」

課題1 平行線と線分の比①のスライドの課題に取り組み。計算の過程と解答は1枚目に記入。

課題2 スライドの2枚目に写真をどのような図形として考えることができるか、どのような関係が成り立つのかをまとめる。
(他の人のスライドを見て、ポジティブコメント入れてもOK！)

課題3 授業プリントNo.21の2枚目のちよっと練習に取り組む。

課題4 振り返りシートを記入する。

添付ファイル



平行線と線分の比①... 授業内進捗状況確認...

3年 数学科「円の性質」

単元を通した学習について見通しを持てるようにすることで、生徒が主体的に課題を設定。

第6章 円の性質

- ・この単元でどんなことを学んでいくのか考える。
- ・教科書、インターネットを使って「円の性質」について調べて、自分なりにまとめていく。
(間違っても大丈夫！)
- ・1つのキーワードに絞って調べていくでも可
- ・自分なりの考えを記入する。



円周角の定理は聞いたことがあったけど、実際はどうやって求めるのかな？

2年 数学科「図形の性質と証明」

1人1枚のスライドをワークシートとして使用し、他者参照することで、じっくり学びたい生徒も、探究的に学びを進めたい生徒も、自己調整しながら学習を進めることができる。



証明するには、三角形の合同条件が必要だから...

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・保健体育科】 器械体操『マット運動』技の自動化・無意識化をめざす

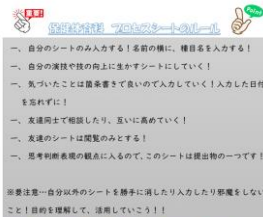
<考察>

体育科では、生徒が新たな種目に挑戦するとき、手本となる動画や自分の演技の映像をいつでも確認できるようにしてきました。
PDCAサイクルを視覚化したプロセスシートを活用し、相互参照できるようにすることで、互いの気づきから自分の課題を解決するポイントを学び、PDCAサイクルに基づいた質の高い学びにつながるようにしました

授業の終わりには、**Formsを用いて本時の練習の振り返りを行うとともに、テキストマイニングを利用した全体共有を行いました。**共通の課題を確認することで次時の目標が明確になります。**プロセスシートの共有は、ポイント**

の顕在化につながるとともに、どのポイントで困っているのかを瞬時に把握することができるため、要点を絞って効率的に指導することができました。

動画や自分の演技の映像、視覚化された自身の気づき、といった様々な情報を適切に活用してきたことが、自ら学ぼうとする生徒の姿につながりました。



PDCAサイクルを意識した自己調整の実現



PDCAサイクルを視覚化し、「できた!」の共有を

プロセスシートを用いることで、PDCAサイクルに基づいた学びを視覚化。運動のポイントを自覚・顕在化することで、技の定着につなげる。

GOOD & KEEP	BAD & PROBLEM	NEXT & TRY
10/28 久しぶりのマット運動だったが、体が覚えていたような事はなかった。 10/30 側立をする時に自動的にバランスを保つことができた。 10/31 岸田さんに見本としてやらせてもらい動画を撮って、自分のできていない所を研究できるようにした。 11/06 自分の問題を見つけて側立前転をすることができた。 11/07 勢いをつけることで側立前転で起き上がる事ができた。	体の柔軟性が足りず、側立前転、側立後転が上手くできなかった。 体がまだ起きてない状態で無理に動かしただけで筋肉痛をおこした。 側立前転をする時に足がひかないので最後の起き上がる事ができなかった。 側立でバランスを保てなかった。 側立前転のフォームがまだ汚い。また、側立のフォームもイマイチだった。	マット運動をする前に柔軟をするなどして対策する。 家で軽くストレッチをして体をほぐしてくる。 友達に補助してもらって起き上がる感覚をつかむ。 家で壁側立をして練習する。 テストに向けて着地の位置などの最終確認をし、友達にフォーム等についてのアドバイスを聞いて万全の状態で臨む。



1年 保健体育科「器械体操 マット運動」

それぞれの技の完成度を高めるために「なにが」必要なのか、プロセスシートや動画等を活用して、グループで考える。PDCAサイクルの繰り返しを視覚化することが、自己調整する学びにつながる。



「できたこと」「できなかったこと」をもとに「次に頑張りたいこと」を明確に持てるようにしましょう。



前より着地の体勢はよくなったけど、もっと速く回転できるようになりたいな。次は手の着き方に気を付けてみよう。



リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立田辺中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・技術・家庭科（技術分野）】クラウド共有で自己調整を行い、他者参照で質の向上を図る

<考察>

生徒の作業時間を確保するため、クラウド上に資料を共有し、生徒が自分のペースで確認しながら作業ができるようにしました。

また、自分の作業を分析・評価するために、作業中の動画をクラウド上に蓄積・共有していくようにしました。

作業序盤には、クラウド上で共有された振り返りシートや作業中の写真をもとに、他者参照の時間を設けました。自身の作業と見本動画を比較し、他者の意見を聞くことで、改善点が明確になり、作業の質が向上しました。

クラウド環境を利用した学びに慣れてくると、生徒間で振り返りシートを確認することが増え、自然と他者参照をする様子が見られるようになりました。

また、正しい作業姿勢や手順を蓄積・共有しておくことで、生徒は自分と比較し、自己調整しながら作業を進めることができました。

クラウド環境を利用することで、個別学習や、協働学習が支えられ、生徒の主体的な学びが加速し、学びを深めることができたと考えます。

他者参照・自己評価を繰り返し、作業の改善を加速させる



もっと上手く作りたい！ 作業を客観視して改善する

振り返りシートをクラウド共有し、他者参照・自己評価することで、改善点をより深く考察し、自己調整しながら作業することが可能となった。

学習内容	行った作業	ふりかえり	自分の評価
目 製図①	キャビネット図No.12まで	・製作は基本寸法を厳密に守り、 ・先手で作成をきちんと終えたと書き ・次回以降の作業の効率も向上しないよ うにしたい。	正確な作業 できたこと 安全に作業 できたこと 今日の目標に 向かって 作業をすま んで行 った。
3日 けがき①	けがき（10本書いた）	・書き込みが綺麗で、 ・次回以降の作業の効率も向上しないよ うにしたい。	A A A
4日 けがき②	けがき（6本書いた）	・書き込みが綺麗で、 ・次回以降の作業の効率も向上しないよ うにしたい。	A A A
1日 切削①	のこぎりを使った	・安全と配慮を欠いて、 ・次回以降の作業の効率も向上しないよ うにしたい。	A A A

1年 技術・家庭科（技術分野）
「材料と加工の技術」

両刃のこぎりの使用方法・作業の姿勢・力配分などを写真や動画で確認し、他者参照・自己評価して改善する。



こんな風に自分は作業していたのか、ここを改善してみよう！

2年 技術・家庭科（技術分野）
「ダイナモラジオの製作」

Teamsで作業手順を共有し、自分のペースで作業を進めていく。
班のメンバーで相互チェックを行う。

はんだ付けの方法

- ①はんだごてで基板を温める
- ②はんだを送る
- ③はんだを離す
- ④はんだごてを離す
- ⑤はんだごての先をスポンジで拭く



自分のペースで作業もできるし、困ったときはみんなに質問できる。